

# としょだより

## JUNE

七尾市立東湊小学校

2025年6月号 発行：司書松田

雨がしとしと降る日には…そうだ！図書室へ行ってみよう！  
今年も「雨の日としょかん」が始まりますよ。

雨の日以外もやってます！  
**雨の日としょかん**

1

**雨の日ミッション**

図書室にきて、ミッションカードをゲットしよう！カードに書かれたさまざまなミッションをクリアして、図書室を楽しみ尽くしましょう！

2

**豆本を作ろう！（昼休み限定）**

豆本とは、このひらサインの小さな本で、中国やイタリアなどで古くから作られてきました。図書室では「かめくんのさんぽ」の豆本を作ります。興味のある人はぜひ参加してみてね。

3

**イラストコンテスト** ※17日〆めきり

イラスト好きの東湊っ子あつまれ！図書室にある専用用紙に書いてください。参加してくれた人のイラストは後日しおりにしてプレゼントします！

パンダ  
大集合



パンダが出てくる本はほかにもあります。  
ぜひ図書室で探してみてね



今月28日に和歌山県のパンダが中国へ返還されます。2026年の2月には東京上野動物園のパンダも返還されることが決まっていて、日本からパンダがいなくなってしまいます。ちょっとさみしい気持ちになった人へ、図書室のパンダを集めてみました。パンダの本を読んで、一緒にパンダの話をしましょう！

「おおきくなあれ パンダ」監修：今泉忠明 フレーベル館  
「どうぶつの赤ちゃん パンダ」監修：ますいみつこ ポプラ社  
「パンダの手には、かくされたひみつがあった！」文：山本昭三 絵：喜多村武 監修：遠藤秀紀 くもん出版  
「飼育員さんひみつおしえて！みんなどきどき動物園」写真：松橋利光 文：池田奈津美 新日本出版社  
「動物と話せる少女リリアーネ 赤ちゃんパンダのママを探して！」著：タニヤ・シュテーブナー 訳：中村智子 Gakken  
「わがしやパンダ」作：香桃もこ 福音館書店  
「ニーハオ！ふたごのパンダ」写真：佐渡多真子 文：古関めぐみ ポプラ社

参考：井田仁康 監修。もっと調べる世界と日本のつながり 3, 岩崎書店, 2020.

開催期間  
9日（月）  
～  
20日（金）

寄贈図書のおしらせ

ほほう！出島先生も推してましたよ

ヒカルの碁は教頭先生の推し本なんですよ

伝統文化棋道振興財団様より  
「ヒカルの碁」1～23巻

普通の小学生が天才囲碁棋士の靈に取りつかれたことで囲碁の世界に巻き込まれ「神の一手」を目指す姿を描く作品。囲碁のルールを知らない人も楽しめます。

※貸し出しはしていません。図書室内で楽しみましょう。

司書が実際に  
読んで解説して  
みました!

自分の心が動く一冊は、どれだろう。

※著作権の都合上、  
一部書影を掲載して  
おりません

# 第71回青少年読書感想文全国コンクール

## 課題図書 低学年の部

### ライオンのくにのネズミ



さかとくみ雪 作  
中央公論社

お父さんの仕事の都合で、ライオンの国に  
引っ越したネズミくんのおはなし。  
こわそうだなという先入観で相手を判断している  
うちは、なかよくなるのはむずかしいですね。  
さいごのページでびっくりしました。  
え? 何が起こったかって?  
読んだ人だけがわかる  
おどろきのしきけです。



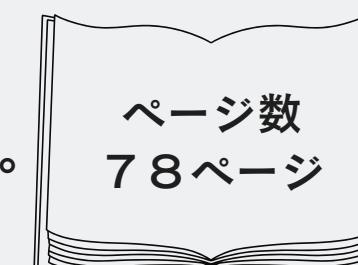
ページ数  
31ページ

### ぼくのねこ ポー



岩瀬成子 作  
松成真理子 絵  
PHP研究所

すてねこをひろったのかな、まいごのねこをひろつたのかな。ぼくのねこポーは、もしかしたら転校生の森くんの家のねこかもしれない。ポーのことが大好きで手放したくないぼくは、どういう行動をするのかな。さいごによりかけた名前がとてもせつなく、胸を打ちます。がんばったねとぼくをぎゅっとだきしめたくなる、そんなおはなしでした。



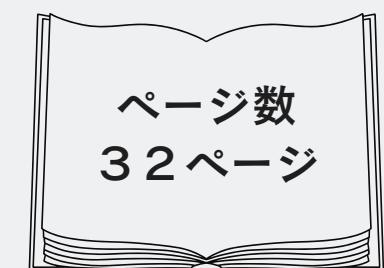
ページ数  
78ページ

### ともだち



ともだち

リンダ・サラ 作  
ベンジー・デイヴィス 絵  
しらいすみこ 訳  
ひさかたチャイルド



ページ数  
32ページ

### ワレワレはアマガエル

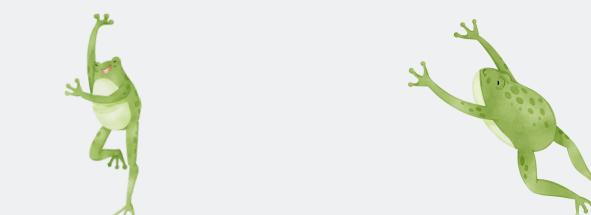


松橋利光 文・写真  
アリス館

みなさんも経験したことがあるかもしれません。ふたりで遊んでいたところに、ひとり加わって三人になったら、これまで通り仲良くできるかな? 新しい関係に、ちょっと戸惑ってしまう人もいるかもしれません。仲間はすぐになってしまったと感じた男の子は・・・



ページ数  
56ページ



司書が実際に  
読んで解説して  
みました!

自分の心が動く一冊は、どれだろう。

※著作権の都合上、  
一部書影を掲載して  
おりません

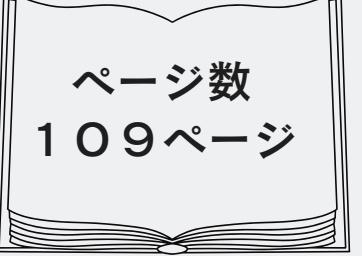
# 第71回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書 中学年の部

## ふみきりペンギン



おくはらゆめ  
作・絵  
あかね書房  
NDC913

とってもふしぎな物語でした。そしておもしろい！  
1冊に7つのお話が入っていてそれぞれの物語は  
つながっています。主人公は小学3年生のこどもたち。「ふつうって、新しいことを知れば変わっていくものだ」という言葉が胸にささりました。  
みなさんは登場人物（動物）の誰が好きですか？  
さあ、ページをめくってみてください。表紙の絵  
だけではわからない、思いがけ  
ない世界が広がっていますよ。



ページ数  
109ページ

## バラクラバ・ボーイ



ジェニー・ロブソン 作  
もりうちすみこ 訳  
黒須高嶺 絵 文研出版  
NDC933

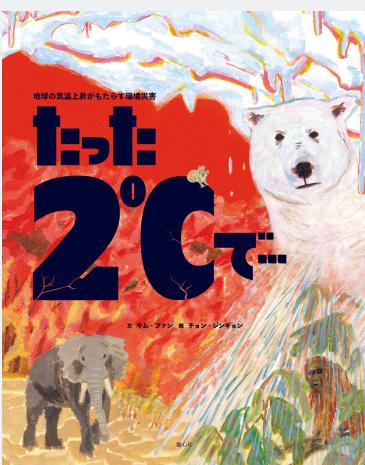
バラクラバというのは目出し帽のこと。南アフリカの物語のためか、登場人物の名前や文化に馴染みがなく、最初は読み進めるのに苦労しました。主人公は4年生、ずっとその顔がわからないままで物語は進みます。ときどきしながらも楽しく読め、予想外のラストに読後はすっきり！

チームワークの良い  
東湊つ子の4年生に  
ぜひ読んでほしいな  
と思いました。



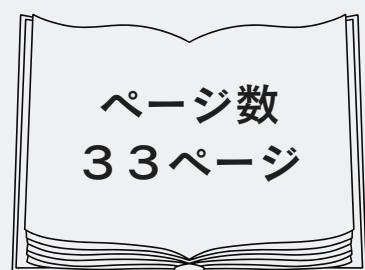
ページ数  
109ページ

## たった2℃で…地球の気温上昇がもたらす環境災害



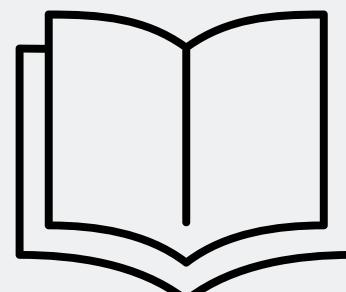
キム・ファン文  
チョン・ジンギヨン 絵  
童心社 NDC519

地球の気温が2℃上ることで、どんな影響があるのか、その数々を紹介した絵本です。わたしが小学生の頃、暑い日というのはせいぜい30℃を超える日のことでした。年々、夏の暑さが強まっている気がしてなりません。この本には、気温上昇の原因や対策については記載されていません。どうしたらいいのか、深く、考えてみませんか？



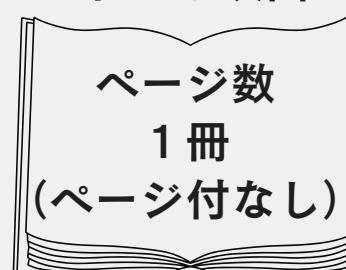
ページ数  
33ページ

## ねえねえ、なに見てる？



ビクター・  
ベルモント著  
金原瑞人 訳  
河出書房新社  
NDC491

自分がいま見ていることが、ほかの人にもまったく同じように見えているのかな？と疑問に思ったことはありませんか？相手がどんな風に見えているのか想像することが楽しかったです。この本は題名が登場するまでに4ページ、まるでこれから映画が始まるようだなあとわくわくしながらページをめくりました。文字だけではなく、絵を読む力も必要ですよ。



ページ数  
1冊  
(ページ付なし)

司書が実際に  
読んで解説して  
みました!

## ぼくの色、見つけた！



志津栄子 作  
末山りん 絵  
講談社  
NDC913

「赤いトマトはどれ？」色を見分けられない「色覚障害」を持つ主人公の成長物語です。（今年は色覚障害に関する本が2冊課題図書に選ばれています。）主人公だけでなく、登場するクラスメイトや両親についても考えさせられました。「困ったときは助けを求めていい」「こんな先生いいなと思える先生が登場します。三宅先生や吉川先生、出島先生を思い出し自分を重ねながら読んでみるのもいいかもしれませんね。

ページ数  
222ページ

自分の心が動く一冊は、どれだろう。

# 第71回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書 高学年の部

※著作権の都合上、一部書影を掲載しておりません

## マナティーがいた夏



エヴァン・  
グリフィス 作  
多賀屋正子 訳  
ほるぷ出版  
NDC933

この本を課題図書に選んでくれてありがとう、強くそう思いました。舞台はアメリカ、小学校生活最後の夏休みの物語です。認知症の祖父、動物の保護、環境問題、友人や母親との関係・・・扱うテーマは多く、そして重いもので、何度も呼吸を整えながら読み進めました。読後感はとても良かったです。トカゲや蝶などいろいろな生き物が出てくるので、生き物が好きな人にもぜひ読んでもらいたいです。よかったです。すごくよかったです。

## 森に帰らなかったカラス



ジーン・ウィリス 作  
山崎美紀 訳  
徳間書店  
NDC933

古き良きイギリスを感じさせる物語です。主人公の少年がケガをしたカラスのひなを育てます。父親の戦争体験も語られ、生と死について考えました。ナチスの捕虜になるということがどういうことなのか、日本の小学生が共感して読むには難しい描写もあるように思いました。それにしても近年、課題図書にはよくカラスが出てくるなあと思うのは私だけでしょうか？

ページ数  
300ページ

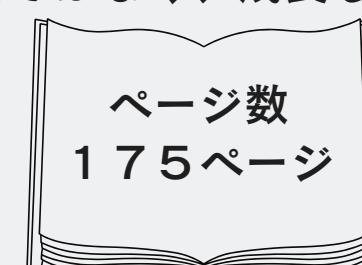
## とびたて！みんなのドラゴン



オザワ部長 著  
岩崎書店  
NDC767

## 難病ALSの先生と日明小合唱部の冒険

小学校合唱部の1年間を追ったノンフィクションです。ALSとは、手足や舌が自力で動かせなくなったり、呼吸ができなくなっていく原因不明の病気です。この本は病と闘う先生ではなく、成長していくこどもたちの物語で、その歌声は、YouTubeで聴くことができました。読んで涙、聴いて再び涙しました。



※個人の感想です。みなさんの感想もぜひ教えてくださいね。